第11回 市長が訪問！

熊谷の元気な企業や団体を紹介します！

太平洋セメント株式会社 熊谷工場（三ケ尻）

太平洋セメント㈱は、国内トップシェアを誇るセメント製造・販売の企業で、熊谷工場は、関東最大級の規模を誇り、年間約200万トンの生産能力を持つセメント工場です。

企業としてカーボンニュートラルを推進しており、特に熊谷工場では、県内で排出されるごみの焼却灰などをセメントの原料に再資源化しています。その量は、県内で排出されるごみ焼却灰の約40％にものぼり、社会的な責任を大きく担っています。

ごみの焼却灰は、他の原料と混合・粉砕後、「キルン」という筒状の回転窯で1,450℃の高温で焼成されます。この過程でダイオキシンなどが無害化された上で、セメントへと生まれ変わります。

意見交換では、AIによる設備寿命予測、ドローンを活用した設備点検などのDX推進、創業以来初のテレビCM放映により知名度向上を図ることで人材の確保を進めていることなど、行政課題にも通じるテーマについて、お話がありました。





タワー棟からの視察



キルンの下で説明を受ける市長

川野剛雅（かわの たけまさ）熊谷工場長を始め、お忙しい中温かく迎え入れてくださった太平洋セメント㈱の皆様、本当にありがとうございました。

問 政策調査課 ☎内線 369

詳しい訪問の様子は、右記コードからご確認ください。

市ホームページ

市報クイズ

【今月のプレゼント】
「トロトロなんこつ」を20人にご提供します！

今月の問題 ○○に当てはまる言葉をお書きください。

新しい道の駅の名称が「道の駅○○○熊谷」に決定しました！（ヒント：7ページ）

応募方法 【締切日】5/31(日)

①今月号の市報の感想 ②市報で取り上げてほしい内容 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥電話番号 ⑦今月の問題の答え を必ず明記し、フォームまたはハガキでご応募ください。

送付先 〒360-8601
熊谷市宮町 2-47-1 広報広聴課
※ 当選者の発表は、プレゼント引換券の発送を持って代えさせていただきます。

3月号の正解

さくら

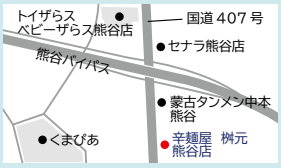
◆応募総数 232通中 正解210通

辛麺屋 桝元（ますもと） 熊谷店





プレゼント例



お店の紹介 (Instagram@masumoto.kumagaya)

宮崎県発祥の辛麺が熊谷に上陸！辛さ調整もできるので、辛いのが苦手な方でも安心です♪ぜひお越しください。

住　　所 熊谷市代844-4
営業時間 11:00～23:00　定休日：不定休
☎048-578-8300

まちフォト



3/3 交通安全を願って、ランドセルカバーを贈呈

新小学1年生になる皆さんに配布されるランドセルカバーの贈呈式が、第二なでしこども園で行われました。



3/20 61年の歴史に幕

3/31に閉園となった江南幼稚園で、閉園式が行われました。卒園児の皆さんが「おわかれのことば」を発表した後に、園歌を斉唱しました。







3/22 熊谷さくらマラソン大会が開催されました！

熊谷市誕生20周年記念 第36回熊谷さくらマラソン大会が開催されました。当日は、暖かな春の陽気に包まれた絶好のマラソン日和となり、参加したランナーはそれぞれのペースで街中を駆け抜けました。





3/25 ラグビータウンの春を告げる熱い戦い

熊谷スポーツ文化公園で第27回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会が開催され、実行委員会推薦枠として初出場を果たした地元・熊谷高校が、京都工学院高校と対戦しました。スタンドを埋めた生徒やOB、地域住民の皆さんからは、大きな声援が送られました。

まちフォト

3/25～ 熊谷さくら祭が開催されました！

3/25～4/7にかけて熊谷さくら祭が開催されました。熊谷桜堤には、今年も昼夜問わずたくさんの方が訪れ、桜と菜の花を眺めてお花見を楽しみました。











CHECK
くまがや市公式SNS
X @kumagayacity
Instagram @kumagaya_city
LINE クマぶら @kumagaya_city
YouTube @kumagayacity
知りたい情報 きっと見つかる
QR SAMPLE
SCAN QR CODE

広告
解体工事 富士産業㈱
解体工事業 建設業許可（般-7）25005号
群馬県太田市東別所町 112-10
トヨタビル 3F
☎0276-30-6054

発行日　令和8年5月1日

発行　熊谷市広報広聴課
TEL 048-524-1156（直通）

KUMAGAYA DREAM FOLLOWERS

情熱世代

夢追い人

Juan Wilson
Saitama Wild Knights



ユアン ウィルソンさん
埼玉パナソニックワイルドナイツ
新加入選手（立正大学出身）
ポジション：FL（フランカー）、No.8

幼い頃からラグビーに触れて

私の生まれ育った南アフリカ共和国では、ラグビーが一つの文化として発展していて、老若男女問わずラグビーが人気です。

私自身は、父がラグビーをしていた影響で、物心がつく前からラグビーボールを追いかけていました。

高校生までは、スタンドオフというポジションでプレーし、その地区で一番上手だったと思います（笑）

その頃は、仲間と切磋琢磨しながら、特にフィジカル面で成長することができました。

日本を選んだ理由

高校生のとき、日本で開催されたラグビーワールドカップで、日本代表のプレーに感銘を受け、いつか日本でプレーしたいと思うようになりました。また、同じ時期に「日本のラグビー環境は非常に質が高い」という話を、日本でプレーしていた同級生から聞いたことで、日本でプレーしたいという思いがより明確になったのを覚えています。

立正大学に進学が決まった瞬間は、とてもうれしかったですし、このチャンスを絶対にものにするぞと自分を鼓舞していました。

KUMAGAYA DREAM FOLLOWERS

心の底からラグビーを“楽しむ”

南アフリカと日本のラグビーの違い

南アフリカは伝統的なフィジカルラグビーで、対戦相手を突破するようなプレースタイルだと思います。

一方で、日本は、素早く細かいところにこだわった戦略的なプレースタイルが特徴だと思います。

国によってプレースタイルに違いがありますが、日本でも持ち前のキャリー力（前進する力）をいかして、楽しみながらプレーすることができています。

けがに苦しんだ大学時代

新型コロナウイルスの影響で、来日が遅れ、大学2年生のときに立正大学のラグビー部に加入しました。

加入後はナンバーエイトというポジションでプレーしていましたが、3年生になったときに、左ひざ前十字靭帯を断裂。必死にリハビリをしていましたが、4年生になるときに同じところを再び負傷。今振り返っても、この2年間は非常に苦しい時期でしたね。このときは「自分の未来」を信じることと、母国の家族や友人からの励ましをモチベーションにしてリハビリに取り組みました。

この苦しい時期があったからこそ、今は心の底からラグビーを楽しめています。

これからの目標

今の目標は、目の前の試合に集中して、埼玉パナソニックワイルドナイツでリーグ優勝することです。リーグワンは非常にレベルの高いリーグですが、ワイルドナイツでトロフィーを勝ち取れたらうれしいです。

そしていつの日か、日本代表のユニフォームを着て、国際大会に出場したいです。

フィールド内外での応援がいつも本当に力になっています。この応援に応えられるように、タイトルを勝ち取り、皆さんに誇りに思ってもらえるように頑張ります。引き続き熱いサポートをよろしくお願いします！



土曜開庁の情報は下記コードからご確認ください。

人口と世帯 ※4/1現在（対前月比）

■ 人口	189,342人（−250人）	
■ 男	94,689人（−177人）	
■ 女	94,653人（−73人）	
■ 世帯	91,643（+192）	

お問合せ・講座などの申込先

■ 熊谷市役所本庁舎	〒360-8601	宮町2-47-1	048-524-1111
■ 大里行政センター	〒360-0195	中曽根654-1	0493-39-0311
■ 妻沼行政センター	〒360-0292	弥藤吾2450	048-588-1321
■ 江南行政センター	〒360-0192	江南中央1-1	048-536-1521

「市報くまがや」5月号は、73,500部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本に掛かる市の負担は、1部当たり24円です。